

Health

長崎大学病院において 次世代の優秀な医療 プロフェッショナルの育成に重要な 役割を果たすUpToDate®



長崎大学病院は、1861年に長崎養生所として設立された日本で最も長い歴史を誇る病院で、がんや感染症の治療では日本トップクラスの医療機関として高い評価を獲得しています。現在の病床数は862、ISO9001も取得し、1,500名を超える医療スタッフがたえず最高水準の医療の提供に取り組んでいます。

また、長崎大学医学部と連携している長崎大学病院は医療人の育成の面でも定評があり、優秀な医療プロフェッショナルを長崎県のみならず日本全国に輩出しています

エビデンスに基づく価値ある臨床支援・教育 ツール：UPTODATE

長崎大学病院の医療教育開発センター長を務める浜田久之教授によると、同病院ではエビデンスに基づく臨床意思決定を支援する目的で2009年にUpToDateを採用しました。大学を卒業後、カナダで学んでいた浜田教授は、そこでエビデンスに基づく診療の重要性を教わります。

「長崎大学病院では、最新のソリューションを利用した次世代の医療プロフェッショナルの育成を積極的に進めています。医学生や研修医に対するエビデンスに基づく医療の講義やワークショップの際にUpToDateを活用しています。研修医の間でUpToDateの評判は極めて良好で、複雑な症例の診断や効果的な治療計画の策定を支援するツールとして欠かせない存在になっています。UpToDateが提供する情報は臨床教育に大切な役割を果たしています」と、浜田教授は述べています。



「研修医の間でUpToDateの評判は極めて良好で、複雑な症例の診断や効果的な治療計画の策定を支援するツールとして欠かせない存在になっています」

長崎大学病院
医療教育開発センター長
浜田久之教授

長崎大学病院と提携する長崎大学医学部は優秀な医学生の獲得に向けて他の大都市と熾烈な競争を繰り広げていますが、全国1,080大学のうち長崎大学医学部は医学を志す学生の人気ランキングの5位に入っています。浜田教授は人気の理由の1つに、UpToDateなど最新ツールを採用した医療プロフェッショナル育成制度の充実を挙げています。



「国際的に定評ある信頼性の高い情報源であるUpToDateは、エビデンスに基づく医療を実践する上での『バイブル』です」

長崎大学病院
医療教育開発センター長
浜田久之教授

エビデンスに基づく医療のスタンダード

研修に加えて、感染制御やプライマリケア担当の医師もUpToDateを積極的に活用しています。

「教育目的のみならず、特に複雑な症状を抱えた患者の診療の質を高めるために日々UpToDateを活用しています」と浜田教授は語っています。



長崎大学病院は、たえず最高水準の医療の提供に取り組んでおり、がんや感染症の治療では日本トップクラスの医療機関として高く評価されています。

長崎大学病院には、韓国や中国をはじめとするアジア諸国から訪れる患者が増加傾向にあります。UpToDateの採用で、同病院の医療チームはグローバルのガイドラインやスタンダードに則った高水準の医療を、自信を持って提供できるようになっています。

2014年の長崎大学病院の医師によるUpToDateの利用は前年に比べて24%増えました。利用範囲は24の専門分野すべてに及びましたが、その中でアクセス数が特に高かったトピックを次に紹介します。

- アデノウイルス感染症の診断および治療
- 非HIV感染患者におけるニューモシスチス肺炎の治療および予防
- ランゲルハンス細胞組織球症の治療
- 低悪性度神経膠腫のマネージメント
- 成人における不明熱に対するアプローチ
- 小児における血小板減少症の原因
- 脳膿瘍の病因、臨床症状、および診断
- 成人の免疫正常宿主におけるサイトメガロウイルス感染の疫学、臨床症状、および治療
- 膜性腎症の原因および診断
- 成人における血栓性血小板減少性紫斑病-溶血性尿毒症症候群の原因

新たな研究結果が矢継ぎ早に発表される中、つねに最新の医療知識を身につけておくことは長崎大学病院の臨床チームのリーダーにとって大きなチャレンジです。一例をあげると、処方が推奨される抗生物質は刻々と変化します。UpToDateにアクセスすれば、医師はポイントオブケアにおいて最適な最新ガイドラインをすぐに参照できます。

「UpToDateのおかげで、各医療分野のエキスパートによって検証された有効性の高い最新情報にアクセスでき、これがエビデンスに基づく医療の信頼度を高めています。国際的に定評ある信頼性の高い情報源であるUpToDateは、エビデンスに基づく医療を実践する上での『バイブル』です」と浜田教授は述べています。

「国際的に定評ある信頼性の高い情報源であるUpToDateは、エビデンスに基づく医療を実践する上での『バイブル』です」

長崎大学病院
医療教育開発センター長
浜田久之教授

今後に向けて

長崎大学病院では医療の質の向上に向けて積極的に新しいテクノロジーを採り入れています。電子カルテを導入して、医師がポイントオブケアで患者情報を閲覧可能にしているのみならず、エビデンスに基づく推奨治療法に素早くアクセスできるように研修医にモバイル情報端末を支給しています。

「長崎大学病院の医師はエビデンスに基づく最新の医療を提供する上でUpToDateをフルに活用しています。医療ITの進化が続くなか、臨床のワークフロー全体においてシームレスにUpToDateを活用できるようにしていきたいです」と浜田教授は締めくくりました。

UpToDate にアクセス
すれば、医師はポイント
オブケアにおいて最適な
最新ガイドラインを
すぐに参照できます。

¹ Isaac, T., Zheng, J. and Jha, A. (2012). 「Use of UpToDate and outcomes in US hospitals」(米国内の病院におけるUpToDateの利用とその成果)。J Hosp Med. 2011 年 11 月 16 日 doi:10.1002/jhm.944

